



「化学物質リスクの評価と情報基盤」

近年、私たちの身のまわりでは化学物質が多種類、大量に使用され、多様なリスクが懸念されるようになってきています。さらに化学物質のリスク評価の範囲をライフサイクル全体（素材製品～使用～廃棄・リサイクル）へと拡げることが、国際的にも求められるようになってきています。

本セミナーでは、横浜国立大学において科学技術振興調整費により推進する化学物質リスクの情報基盤の構築とその活用による新たなリスク評価手法について、その検討成果を紹介しします。さらに、我が国の化学物質のリスク評価について、先導的に検討、取り組まれている産業技術総合研究所および製品評価技術基盤機構における取り組みについても紹介していただき、化学物質のリスク評価の現状や課題、今後の化学物質管理の方向性について考えることとします。

本公開セミナーは、製品評価技術基盤機構と本学との包括連携協定締結および本学の創立60周年を記念して、さらに安心・安全の科学研究教育センターにおける副専攻プログラム「安心安全マネジメント」と社会人教育の一環として取り組むものです。本学の学生以外にも、社会的啓蒙を図るために広く門戸を開放しています。ご関心のある皆様の積極的なご参加をお願いします。

主催： 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター
横浜国立大学 大学院環境情報研究院
文部科学省科学技術振興調整費科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進
「事業者の化学物質リスク自主管理の情報基盤」プロジェクトグループ
文部科学省グローバルCOEプログラム
「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」プロジェクトグループ

共催： 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

協賛（予定）：

高圧ガス保安協会（横浜国立大学包括連携機関）	神奈川県産業技術センター
社団法人 日本化学工業協会	社団法人 環境科学会
社団法人 日本水環境学会	特定非営利活動法人 安全工学会
エコケミストリー研究会	日本リスク研究学会
TOBAC（東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリアアップ運営協議会）	
横浜国立大学リフレッシュ教育コース	

日時： 平成22年2月22日（月） 13:00～16:00

場所： 横浜国立大学 教育文化ホール

参加費： 無料

プログラム（予定） 司会 安心・安全の科学研究教育センター センター長

藤江 幸一

(1) 開催挨拶

横浜国立大学 学長
製品評価技術基盤機構 理事長

鈴木 邦雄
安井 至

(2) 化学物質の事前評価制度とリスク評価手法（仮題）

製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

村田 麻里子

(3) 化学物質の詳細リスク評価と産総研の取り組み（仮題）

産業技術総合研究所

内藤 航

(4) 事業者の化学物質リスク自主管理のための情報基盤

プロジェクトの概要
ライフサイクルに亘るリスクの評価事例

三宅 淳巳
本藤 祐樹

申込方法：①氏名、②所属、③連絡先住所、④電話番号、⑤Fax番号、⑥E-mailを記載の上、「公開セミナー第3回参加申込」と題記して、下記にFAXまたはE-mailでお申し込み下さい。
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター

FAX：045-339-4294, E-mail：anshin@ynu.ac.jp

TEL：045-339-3776, URL：http://www.anshin.ynu.ac.jp/

Center for Risk Management and Safety Sciences

